

カーゴニュース

話題

ITノウハウを基軸とした新サービスが続々と

イーソーコ



中心にその周辺サービスを拡充して、物流施設の仲介に付随するビジネスをし、同社の物流不動産ビジネスの拡大を図る。

「イーソーコ・com」は現在、月間5万人・60万ページビューがあり、グループなどの大手検索サイトの「倉庫」というキーワードで常に3位以内に入るなど、物流に関心のある人にとって目立つサイトとなっている。同社グループでは、この情報力を活用して、物流企業のIT営業をサポートする物流営業支援システム(LSS)を開始した。このシステムに申し込むと営業に特化した専用ページを同社が作成し、「イーソーコ・com」とリンクすることで、物流に関心のある人をこのページに誘導。さらに物流に特化した見積もりシステム「イーカーゴ」の利用も可能になり、仕事の依頼に対し見積もりを出すことができ

る。例えば、自社で対応できない案件の依頼や、余剰機材の売却もできるという。

同社では「従来の人脈を活用した営業は必要だが、それにITを付加することで、さらに効果を上げることができる。ITのノウハウがある当社だからこそ、その手助けができる」と確信している」としており、そのキーとなるのが「ITを進化させたICT(インフォメーション・コミュニケーション・テクノロジー)だ」という。

また、同社グループのイーソーコ総合研究所は、物流施設の売買を考えている顧客向けに、物流施設のレポートサービスを本格化させた。このサービスは「イーソーコ・com」の物件データを基に分析し、営業マンの情報とあわせて、希望地域の賃料相場や物流施設のニーズなどを調査するもの。既存物流施設についてもレポートを作成し、物流不動産に精通した建築士による建物診断を行うほか、改修による建物価値の向上なども提案していく。さらに「イーソーコ・com」のマーケットデータを基に想定賃料も算出する。「今後はファンドの建設した大規模物流施設だけではなく、中規模物流施設の売買案件もでてくる。投資を考えている企業にとって、必須なレポートが作成できる」と(同社)という。なお、調査・レポート費用は10万円から。